

平成15年度事業報告について

(平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)

概要

尾瀬の優れた自然環境を保全し適正な利用を図るため、入山口における啓発活動や自然解説、旅行者等を対象としたガイドンス開催、尾瀬ボランティアの活動支援など、尾瀬利用者の指導啓発活動を実施するとともに、尾瀬通信の発行やホームページ、環境イベントへの参画等を通じ広く情報提供を行った。

また、荒廃湿原等の植生復元事業、ビジターセンター等利用施設の維持管理事業及び国立公園利用適正化推進事業を受託実施した。

さらに、尾瀬を含む湿原保護に関する学術研究を奨励するため、顕彰事業として尾瀬賞を授与した。

理事会等諸会議の開催

財団の適正な運営を図るため、理事会及び評議員会を開催したほか、企画運営委員会等を開催し、尾瀬及び財団に関する諸課題について意見交換等を行った。

1 理事会の開催

(1) 第17回理事会

- ・日時 平成15年6月19日(木)午後1時30分～午後2時20分
- ・会場 都道府県会館(東京都千代田区平河町)401会議室
- ・議事

議案

- 1 平成14年度事業報告について
- 2 平成14年度決算について
- 3 基本財産への繰り入れ及び運用について
- 4 評議員の辞任に伴う後任評議員の選任及び任期満了に伴う改選について
- 5 尾瀬賞運営委員会委員の任期満了に伴う改選及び委員長の選任について

報告事項

- 1 尾瀬サミット2003の開催概要について
- 2 第7回尾瀬賞の募集について
- 3 至仏山保全緊急対策会議の設置について
- 4 企画運営委員会の開催状況について
- 5 第16回評議員会の概要について

(2) 第18回理事会

- ・日時 平成16年3月29日(月)午後3時～午後4時10分
- ・会場 都道府県会館(東京都千代田区平河町)401会議室
- ・議事

議案

- 1 平成15年度事業計画の変更について
- 2 平成15年度収支予算の変更について
- 3 平成16年度事業計画について
- 4 平成16年度収支予算について
- 5 評議員の辞任に伴う後任評議員の選任について

報告事項

- 1 第7回尾瀬賞受賞者について
- 2 至仏山保全緊急対策会議の検討状況について
- 3 第17回評議員会の概要について

2 評議員会の開催

(1) 第17回評議員会

- ・日 時 平成15年6月19日(木)午前10時30分～午前11時41分
- ・会 場 都道府県会館(東京都千代田区平河町)401会議室
- ・議 事

議 案

- 1 平成14年度事業報告について
- 2 平成14年度決算について
- 3 基本財産への繰り入れ及び運用について
- 4 役員の辞任に伴う後任役員等の選任について

報告事項

- 1 尾瀬サミット2003の開催概要について
- 2 第7回尾瀬賞の募集について
- 3 企画運営委員会の開催状況について
- 4 第16回理事会の概要について

(2) 第18回評議員会

- ・日 時 平成16年3月29日(月)午前10時30分～午後11時50分
- ・会 場 都道府県会館(東京都千代田区平河町)401会議室
- ・議 事

議 案

- 1 平成15年度事業計画の変更について
- 2 平成15年度収支予算の変更について
- 3 平成16年度事業計画について
- 4 平成16年度収支予算について
- 5 役員の辞任に伴う後任役員の選任について

報告事項

- 1 第7回尾瀬賞受賞者について
- 2 至仏山保全緊急対策会議について
- 3 第17回理事会の概要について

3 企画運営委員会の開催

(1) 第5回企画運営委員会

- ・日 時 平成15年8月4日(月)午後2時～午後3時35分
- ・会 場 都道府県会館(東京都千代田区平河町)410会議室
- ・議 事

審議事項

- 1 平成15年度事業経過について
- 2 尾瀬の現状と課題について
- 3 財団が取り組むべき課題について

(2) 第6回企画運営委員会

- ・日 時 平成16年3月18日(火)午後2時00分～午後3時30分
- ・会 場 都道府県会館(東京都千代田区平河町)410会議室
- ・議 事

審議事項

- 1 平成15年度事業経過について
- 2 平成16年度事業計画について
- 3 財団のこれまでの取組と今後の展望について

4 尾瀬地域関係者連絡会議の開催

(1) 第1回会議

- ・日 時 平成15年4月24日(木)午後1時30分～3時30分

- ・会 場 都道府県会館（東京都千代田区平河町）4階410会議室
- ・議 事

審議事項

- 1 各団体における平成15年度事業（予定）について
- 2 各団体が抱える当面の課題や懸案事項について
- 3 意見交換

(2) 第2回会議

- ・日 時 平成15年10月28日（火）午後2時～午後3時10分
- ・会 場 都道府県会館（東京都千代田区平河町）410会議室
- ・議 事

審議事項

- 1 平成15年度主要事業等の実施状況について
- 2 平成16年度予定事業について
- 3 意見交換

事業実績

1 利用者指導事業

(1) 入山者指導事業

尾瀬への入山口における指導

尾瀬の入山口（鳩待峠口・沼山峠口・大清水口）において入山者への指導（案内・啓発など）を尾瀬ボランティアの協力を得て実施した。また、関係企業や尾瀬山小屋組合と連携してごみの持ち帰り運動を実施するなど、尾瀬の環境美化や利用者マナーの啓発に努めた。

また、軽装者の事故を防止するため、引き続き鳩待峠口で貸し靴（登山靴）事業を試行的に実施した。

尾瀬ガイドの実施

環境省や尾瀬山小屋組合と連携して、尾瀬ツアーを計画している旅行会社や尾瀬関係書籍の出版社等を対象に尾瀬の現状と適切な利用方法を説明し、ツアー募集パンフレットや尾瀬に関する書籍の発行等に際して、利用者のマナー向上や利用の分散化が図られるよう協力を呼びかけた。

東 京地区	平成16年	1月30日	都道府県会館	参加47社69名
大 阪地区	平成16年	2月 5日	大阪駅前第3ビル会議室	参加17社27名
仙 台地区	平成16年	3月24日	仙台市情報・産業プラザ	参加11社12名

尾瀬ボランティアの活動支援

尾瀬ボランティア（平成15年4月1日現在登録者数：360名）により入山口指導、美化清掃活動、移入植物除去作業及び植生復元作業等を実施するとともに、ひと味違った尾瀬の楽しみ方を知ってもらいながら自然や環境保全への関心を高めてもらうためのインタープリテーション活動などを実施した。

平成15年度の活動内容は次のとおり。

ア 鳩待峠、沼山峠等における入山者指導

尾瀬でのマナーや現地状況の説明、入山口での靴底の種子落としの指導、団体ツアー客向けマナー指導、軽装者への注意喚起、尾瀬地域の美化清掃活動

平成15年度尾瀬ボランティアによる入山者指導活動状況

	5/24 ~ 6/29	7/5 ~ 8/9	9/20 ~ 10/12	計
鳩待峠	74人	78人	48人	200人
沼山峠	28人	45人	18人	91人
大清水	6人	9人	5人	20人
合 計	108人	132人	71人	311人

イ 至仏山東面登山道整備作業

- ・柵立てとロープ張り 平成15年 6月28日
- ・柵はずし等 平成15年10月14日

ウ 移入植物除去作業

- ・三平下～沼尻 平成15年 8月 7日
- ・鳩待峠～小至仏山 平成15年 8月26日

エ スポット解説活動

- ・インタープリテーション研修（現地・座学）
現地 平成15年6月21日～22日、座学 同年8月23日～24日
- ・お話しボランティアの実施状況

	5/30～6/21	7/14～8/8	9/29～10/10	計
日数	6日間	7日間	4日間	17日間
尾瀬ヶ原地区	14人	26人	10人	50人
尾瀬沼地区	9人	22人	9人	40人
合計	23人	48人	19人	90人

オ 至仏山中腹荒廃地植生復元作業

平成15年9月18日

カ 2003ありがとう尾瀬清掃活動

平成15年9月28日、10月13日

キ その他

尾瀬での自主ボランティア活動、旅行会社パンフレットの収集、身近な地域でのボランティア活動など

尾瀬自然解説ガイド事業

尾瀬を活動フィールドとするガイド事業者とのネットワークの構築と尾瀬自然解説ガイドの創設に取り組んだ。このうち、ネットワークの構築については、尾瀬に携わるガイド事業者のネットワーク化や相互協力、ガイド利用の促進、一定レベルの知識や技術を有するガイド育成などを目的とする尾瀬ガイドネットワークの設立に向け会議を開催したほか、財団ホームページ内にガイド事業者について紹介するページを開設した。また、尾瀬ボランティアを母体に、座学・現地研修を経て、尾瀬ヶ原を活動フィールドとする有料ガイドである尾瀬自然解説ガイドを創設した。

尾瀬ガイド事業者掲載数 11

尾瀬自然解説ガイド登録者数 14名、15年度活動実績 4日間（83人をガイド）

啓発PR事業

ア 尾瀬保護に係るPR事業

尾瀬の保護の推進と財団活動のPRを行うため、各種イベント等に参加し、会場内に「尾瀬コーナー」を設け、尾瀬における利用マナーの向上と平日利用、入山口分散化の呼びかけ等を行った。

出展期間	イベント
平成15年 9月21日	ぐんま環境フェスティバル（群馬県庁県民ホール）
平成15年10月16日	第6回全国環境学習フェア（片品村文化センター）
平成15年11月14日 ～11月15日	新潟県環境フェスティバル（新潟市・朱鷺メッセ）

このほか、第2回クリーン・グリーン・エコの集い（群馬県粕川村）その他で、パネル展を開催した。

イ 第8回NHK「わたしの尾瀬」フォトコンテスト及び写真展の開催

NHKとの共催により尾瀬の「自然」、「動植物」、「人物」、「保護」をテーマとしたフォトコンテストを実施し、入選作品や財団パネルを展示するとともにスライドレクチャーを行い、自然保護について理解を深めた。

・応募状況 応募総数 591点、入選数 50点

- ・開催期間等 平成15年12月5日～12月10日 群馬・高崎シティギャラリー
平成15年12月16日～12月22日 群馬県庁県民ホール
平成16年1月27日～2月2日 福島・うすい百貨店郡山店
平成16年2月27日～3月8日 新潟・柏崎ソフィアセンター
ほか5会場で開催（引き続き開催中）
15年度の入場者数は累計で28,776名

ウ 「尾瀬 昔の写真展」の開催

尾瀬に対する保護思想の普及啓発や資料の収集・保全を図るため、平成8年度に公募を行った昔の尾瀬の写真を展示する「尾瀬、昔の写真展」(パート2)を開催した。

- ・平成16年1月27日 うすい百貨店(NHK写真展と共催)
～2月2日 ほか1会場で開催(引き続き開催中)

エ 第5回「尾瀬フォーラム」の開催

当財団の取組みを広く紹介し、尾瀬に心を寄せる方々とのふれあいを深めるため、5回目の尾瀬フォーラムを開催した。

- ・開催日 平成15年12月5日(金)
- ・開催場所 群馬・高崎シティギャラリー・コアホール
- ・講師 大久保勝實氏(元片品村立片品中学校長)
- ・参加人員 280名

(2) 自然解説事業

自然解説活動の実施

尾瀬山の鼻及び尾瀬沼の両ビジターセンターに自然解説員を配置し、朝夕の自然観察会やセンター内におけるスライドレクチャーなどを実施した。

また、自然解説活動の一層の充実を図るため、ハイシーズン及び平日の啓発・指導活動を実施した。

ア 尾瀬山の鼻ビジターセンターにおける自然解説活動実施状況

・自然観察会	実施回数	107回	参加人数	877人
・スライドショー	実施回数	60回	参加人数	1,956人
・ハイビジョン上映会	実施回数	89回	参加人数	1,225人
・団体レクチャー	実施回数	33回	参加人数	877人

イ 尾瀬沼ビジターセンターにおける自然解説活動実施状況

・自然観察会	実施回数	194回	参加人数	1,527人
・スライドショー	実施回数	95回	参加人数	3,077人
・マルチスライド上映会	毎日8回実施		参加人数	12,067人
・団体レクチャー	実施回数	13回	参加人数	1,003人

子ども用尾瀬自然環境ミニブック配布(群馬県委託事業)

尾瀬を訪れる学校、団体の事前学習や尾瀬でのレクチャーなどで活用するため、尾瀬の自然環境や環境保全のための取組みについて、子ども向けに分かりやすくまとめた「尾瀬ミニブック」を配布した。

ネイチャースクールの開催

自然の中で、自然と人との関わりを考える場として、一般の方々を対象にした第6回ネイチャースクールを実施した。

- ・テーマ 「初秋の尾瀬で学ぶ～植生復元の至仏山とアヤマメ平散策」
- ・時期 平成15年8月20日(水)～22日(金)

(3) 指導者養成事業

指導者養成

尾瀬における自然解説活動の充実に向け、自然解説員の資質向上を図るため、「自然解説指導者研修」に職員を派遣し、自然解説指導者としての養成を行った。

利用者指導のための資料の収集

入山者指導や自然解説活動に必要な資料の収集を行った。

(4) 啓発資料作成事業

啓発パンフレットの発行

尾瀬の案内、マナー、自然解説等の啓発資料としてセルフガイドの見直しを行った。

また、尾瀬地域の交通対策のパンフレットを作成して、関係者や一般の方々に配布し、交通規制の内容について周知を図った。

入山者指導用ビデオの活用

尾瀬についての理解を深めてもらうため、啓発用ビデオをイベント等で放映するとともに、シャトルバス運行会社等に車内での活用を依頼した。

2 環境保全事業

(1) 植生復元事業

環境省、群馬県及び福島県からの受託事業として、アヤメ平・横田代、至仏山東面登山道周辺、沼尻地区及び見晴地区における裸地化・荒廃した湿原の植生復元事業を実施した。

- ・至仏山東面登山道周辺の植生復元作業
- ・沼尻周辺の植生復元及び尾瀬沼周辺の立入防止柵の設置等
- ・アヤメ平・横田代植生復元作業
- ・見晴地区の植生復元及び立入防止柵の設置等

(2) 至仏山保全緊急対策会議

至仏山については、平成9年の登山道再開後も依然として植生の荒廃につながる環境破壊が見受けられることから、群馬県からの補助を受け、関係機関と有識者による至仏山保全緊急対策会議を設置し、至仏山の植生保護と利用の適正化に関する基本方針を策定した。

3 施設管理事業

(1) 施設維持管理事業

ビジターセンターの管理運営

環境省から尾瀬沼ビジターセンター並びに浄化槽・汚泥処理施設等の管理運営を、群馬県から尾瀬山の鼻ビジターセンターの管理運営をそれぞれ受託し実施した。

ビジターセンター運営期間 平成15年5月13日～11月5日(山の鼻)

〃 5月14日～11月5日(尾瀬沼)

公衆トイレの維持管理

環境省から尾瀬沼地区公衆トイレの維持管理を、群馬県から尾瀬山ノ鼻公衆トイレ及び竜宮公衆トイレの維持管理をそれぞれ受託し実施した。

なお、トイレの維持管理費等の一助とするため、山ノ鼻公衆トイレ及び竜宮公衆トイレに「協力金募金箱」を設置し、利用者への協力を呼びかけた。

(2) 利用者対策事業

尾瀬沼及び尾瀬山の鼻の両ビジターセンター内に利用者のためのコース案内を掲示した。

4 調査研究事業

(1) 国立公園利用適正化推進事業

日光国立公園尾瀬地区の貴重で繊細な自然環境を将来にわたり保全していくため、平成11度に構築した国立公園利用適正化システムの改善・充実を図り、より具体的・効果的な方策を検討するための事業を環境省から受託して実施した。

利用適正化推進事業

指導マニュアルや各種パンフレット等を作成・活用し、尾瀬の入山口や尾瀬地域内外において啓発活動を実施・検証するとともに、情報収集・発信システムの運用・改善として、現地情報のFAXサービス、ホームページによる情報提供を実施した。

利用分散化推進事業

ア 望ましい地区収容力の検討

自然環境保全や利用適正化のための対策を検討・実施するうえで基礎となる望ましい地区の収容力を検討するため、利用者数(利用密度)と自然環境への影響や利用快適性との関係を明らかにするため、平成14年度までに行った景観体験評価調査等の補足調査及び調査結果の取りまとめを行った。

イ 旅行会社に対する働きかけの強化

自然環境保全と快適利用の調和を図るため、旅行会社関係者の理解を得るとともに、望ましいツアーの開発に向けた取組としてモデルツアーを試験実施するとともに、旅行会社の添乗員等を対象としたブラッシュアップ研修会を行った。

ウ 非混雑日(期)への利用者誘導手法の開発

尾瀬の利用者を非混雑日(期)へ誘導するため、ハイシーズンでない平日の尾瀬において、写真撮影テクニックやマナーの向上を目指した写真撮影講習会を開催した。

自然改変状況モニタリング調査事業

尾瀬ヶ原山ノ鼻地区における気象調査を継続実施した。

ごみ処理対策検討調査事業

尾瀬地域内の各施設の浄化槽から発生する汚泥の現状調査に係る補足調査や浄化槽発生汚泥の抑制手法の検討を行った。

野生生物安全管理方策検討調査事業

クマと共存しながら利用者の安全を確保するため、クマに関して利用者向けの注意を喚起するPRリーフレットを配布した。

5 顕彰事業

環境保全に関する学術研究等を支援するため、第7回尾瀬賞の募集と選考を行った。

- ・ 尾瀬賞選考委員会 平成15年12月 7日(日)
 第7回尾瀬賞選考方法について
 平成16年 2月 1日(日)
 第7回尾瀬賞受賞候補者の選考について
- ・ 尾瀬賞運営委員会 平成15年10月21日(火)
 尾瀬賞選考委員の改選について
 第7回尾瀬賞の選考について
 平成16年 2月22日
 第7回受賞者候補者の決定及び第8回尾瀬賞の募集について
- ・ 第7回尾瀬賞受賞者 犬 伏 和 之 氏
 千葉大学園芸学部教授

6 友の会会員の募集

友の会会員の拡充を図るため、関係機関や関係団体等に入会を呼びかけるとともに、各種イベント及びインターネットのホームページを通して会員の募集を行った。会員に対して会員証を交付するとともに定期的に会報(お知らせ)を送付するなど、尾瀬に関する情報の提供を行った。また、友の会会員が開催する写真展について、財団ホームページに掲載し広く周知した。

平成13年度末現在 賛助会員14社 個人会員1,288人

平成14年度末現在 賛助会員17社 個人会員1,475人

平成15年度末現在 賛助会員20社 個人会員1,617人

7 その他の事業

(1) 尾瀬サミット

平成15年9月10日(水)~11日(木)に、福島県檜枝岐村(本村)において「尾瀬サミット2003」を開催した。尾瀬地域外において開かれる初めてのサミットで、「尾瀬とともに生きる」をテーマに、役員をはじめ尾瀬に関わる人々が一堂に会して話し合いが行われた。

8 収益事業(特別会計)

財団の事業活動の財源を確保するため、尾瀬山の鼻及び尾瀬沼の両ビジターセンターを中心に尾瀬に関する書籍、地図及び絵はがき等の販売を行ったほか、群馬県との協定により「ぐんま自然環境カレンダー2004」の販売を行った。